

[044]中国文学論集表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1650634>

出版情報：中国文学論集. 44, 2015-12-25. 九州大学中国文学会
バージョン：
権利関係：

彙報

○開講科目(二〇一五年度)

【全学教育科目】

文系ディシプリン科目(文学言語学入門・前期)

静 永 教授

【文学部・学科共通科目】

中国語(中級) I・II (佐賀大学) 中尾友香梨准教授

中国語初歩 I・II (佐賀大学) 中尾友香梨准教授

中国語会話 I・II・中国語作文 I・II 査 教 師

中国語科指導法 I (後期) 静 永 教授

人文学基礎 II (後期) *静 永 教授

人文学 II (後期) 静 永 教授

*印は他講座教員との共同オムニバス授業

【文学部・中文講座科目】

講義 史記伍子胥列伝講読 静 永 教授

演習 千載佳句所収唐詩訳注(23)(24) 静 永 教授

演習 韓愈研究(前期) 査 教 師

演習 柳宗元研究(後期) 査 教 師

演習 中国近現代文学作品講読 (九州産業大学) 呉紅華 教授

(九州産業大学) 査教師・静永教授

演習 中国文学研究法 査教師・静永教授

演習 中国語文法研究(言語文化研究院) 西山 准教授

【人文科学府】

演習 文選集注曹植七啓読解 静 永 教授

演習 北平日記訳注 静 永 教授

演習・博士演習 中国文学研究法 査教師・静永教授

論文指導 中国語学中国文学の諸問題 静 永 教授

【統合新領域学府ライブラリーサイエンス専攻】

講義 図書・図書館史 *静 永 教授

○学位論文

(二〇一五年三月学位取得)

西晋辞賦文学研究—左思「三都賦」を中心に—

[博士(文学) 甲] 栗山 雅央

楽府詩人元稹の研究 [博士(文学) 甲] 長谷川 真史

唐代七夕文学考 [学士] 梅田 未来

樋口和堂蔵書研究 [学士] 浦志 優理子

白居易と洞庭湖 [学士] 江崎 巧

東京における魯迅 [学士] 清水 駿 貴

○中国文藝座談会

第二七七回(二〇一四年十二月二〇日) 於文学部四階会議室

柳永の艶詞について 丸尾 行雅

小説の中の趙雲 渡辺 亜子

パール・S・バックとノーベル賞 波留 岳人

元代選集所収の陸游詩について 甲斐 雄一

第二七八回(二〇一五年一月三十一日)於文学部四階会議室

黃庭堅の挽詞について

蒙 顯 鵬

馮夢龍の号「墨憨齋」について

山口 綾 子

魯迅とキリスト教影響下のロシア「同伴者」作家たち

陳 維

第二七九回(二〇一五年三月七日)於文学部四階会議室

初唐詩人群と山東

種 村 由 季 子

「持衡擁璇」について

何 中 夏

青木正児と琉璃廠来薰閣について

稲 森 雅 子

明末浙東文人銭文薦とその詩文集『麗陽樓集』について

邵 劼

第二八〇回(二〇一五年四月二十五日)於教育学部一階会議室

元稹「幽棲」詩における「野人」

長谷川 真 史

宋代の葬礼と挽詞の関係について

蒙 顯 鵬

「文選」の編纂と辞賦の変容

栗 山 雅 央

日本伝存の旧抄本『史記』の文献的価値について

李 由

第二八一回(二〇一五年五月二十八日)於文学部四階会議室

旧鈔本校勘与文学研究―以『白氏文集』為例―

静 永 健

「香山居士図」与「香山九老図」之関係考弁

查 屏 球

有関班固的「賦観」以「両都賦・序」的解釈为中心―

栗 山 雅 央

帰隠之前陶淵明―以陶氏与桓玄之關係为中心

陳 引 馳

第二八二回(二〇一五年七月十八日)於文学部四階会議室

『搜神記』にみえる山岳

雁 木 誠

艾軒学派林光朝について

李 祥

「元代文学」は成り立つか―王朝交替と文学史―

奥 野 新 太 郎

外務省文化事業部第三種補給生・濱一衛

―外務省資料と周豊一の回想録でたどる留学生生活―

中 里 見 敬

第二八三回(二〇一五年九月十九日)於文学部四階会議室

『封神演義』の登場人物殷郊・殷洪について

岩 崎 華 奈 子

文人空海の成立考

ウイリアム・マツダ

第二八四回(二〇一五年十一月十四日)於文学部四階会議室

銭文薦の辞賦について

邵 劼

孫楷第『中国通俗小説書目』編纂と当時の日中学术交流

稲 森 雅 子

近十五年来の『搜神記』研究について

雁 木 誠

◆他学会・研究会での発表（事務局把握分のみ掲載）

○清末民初期赴日中国留学生与中国现代文学——日中學術研討会（二〇一五年三月二十五日、於九大西新プラザ）

一九三〇年代的北京北京旧書店——从目加田誠留學日記
『北平日記』開始追述 稻森雅子・邵 劼

○第六十三回九州中国学会大会発表

（二〇一五年五月十六日～十七日、於九大伊都校区）
黄庭堅の挽詞について 蒙 顕 鵬

明末浙東文人錢文薦とその詩文集『麗陽樓集』について 邵 劼

日本伝存の旧鈔本『史記』の文献的価値について

李 由
从西域之神到東土隱士——唐宋維摩詰圖題詩之演變 查 屏 球

○東山之会二〇一五年六月例会

（二〇一五年六月二十日、於京都女子大学）
初唐四傑の呼称について 種 村 由 季 子

○第十九回六朝學術学会大会

（二〇一五年六月二十日、於二松学舎大学）
六朝期の賦の評価より見る『文選』賦類の編纂について 栗 山 雅 央

○古典小説研究会二〇一五年度大会

（二〇一五年八月二十七日～二十八日、於広島県福山市）
書評：大橋由治著『搜神記』研究 雁 木 誠

○第六十七回日本中国学会大会発表

（二〇一五年十月十日～十一日、於國學院大學）
『封神演義』における天意と情義の衝突 岩 崎 華 奈 子
史記旧鈔本「夏本紀」の本文について 李 由

◆社会連携事業

○市民講座：目加田誠先生『北平日記』読書会（大野城）

（二〇一五年度、大野城市歴史をつなぐ事業推進室主催）
目加田先生『北平日記』（全八冊）のうち、第三冊・第四冊部分の翻字と訳注作業。開催は五月三十日・六月二十七日・七月二十五日・九月五日・十月四日・十月二十四日・十一月二十八日・十二月二十六日・一月二十三日・二月二十七日の十回（予定）。場所は大野城市役所会議室等。

○研究室共同研究：目加田誠先生『北平日記』読書会（箱崎）

（二〇一五年度、於中国文学研究室）
目加田先生『北平日記』（同右）のうち、第六冊～第八冊部分の翻字と訳注作業。開催は四月十一日・五月九日・六月十三日・七月十一日・八月八日・九月二十六日・十一月七日・十二月五日・一月十六日・二月六日の十回（予定）。

○岡村繁先生蔵書整理作業（東区青葉の岡村先生宅にて）

* 準備会議：二〇一五年一月十二日、於九大中文研究室
* 第一次目録作成作業：三月十六日（月）～二十日（金）
* 第二次目録作成作業：三月二六日（木）～二七日（金）

三月三十日(月)～三十一日(火)

*第三次目録作成作業……………四月四日(土)～六日(月)

*岡村文庫目録暫定版の完成……………五月二五日(月)

*書籍の梱包、久留米大学図書館への搬出

……………七月二八日(火)～二九日(水)

○大野城市目加田文庫線装本の整理と記録保存作業

(二〇一五年九月七日・八日・一〇日、於下大利小学校)

松崎 治之・竹村 則行・静永 健・

柏木 万里・古野亜莉沙・南里 有哉

○会員消息(事務局把握分のみ)

静永 健 四月一日、九州大学教授に昇任。

奥野新太郎 四月一日、九州大学助教に就任。

原田 愛 四月一日、金沢大学准教授に就任。

甲斐 雄一 四月一日、学振特別研究員(大阪大学)着任。

○会員近著(事務局把握分のみ)

岡村 繁『白氏文集』十

(新釈漢文大系106、明治書院、二〇一四年十二月)

原田 愛『蘇軾文学の継承と蘇氏一族―和陶詩を中心に』

(中国書店、二〇一五年二月)

東 英寿『歐陽脩研究新見―新発現書簡九十六篇』

(古典文献研究輯刊第二十編第十八冊、

台湾・花木蘭文化出版社、二〇一五年三月)

根ヶ山徹『牡丹亭還魂記匯校』

(中国・山東大学出版社、二〇一五年四月)

静永 健(ほか編)

『南宋の隠れたベストセラー『夷堅志』の世界』

(アジア遊学181、勉誠出版、二〇一五年四月)

串田久治・諸田龍美『漢詩醉談―酒を語り、詩に酔う』

(大修館書店、二〇一五年六月)

上尾龍介『一塊のパン―ある学徒兵の回想』

(中国書店、二〇一五年七月)

岡村 繁『白氏文集』十一

(新釈漢文大系107、明治書院、二〇一五年九月)